



NEWS RELEASE

報道資料

2009年11月24日

(日本時間)

アプライド マテリアルズ、独メルク、ブラウンシュヴァイク工科大学が
ドイツ政府から有機発光ダイオード研究の助成金を獲得

アプライド マテリアルズ (Applied Materials, Inc., Nasdaq : AMAT、本社 : 米国カリフォルニア州サンタクララ、会長兼 CEO マイケル・スプリンター)、独メルク (Merck KGaA)、およびブラウンシュヴァイク工科大学は 11 月 17 日 (現地時間)、有機発光ダイオード (OLED) の製造コストを引き下げ一般照明に活用するためのプロセス開発にドイツ連邦教育・研究省から助成金を受けることになったと発表しました。アプライド マテリアルズは、高性能 OLED 材料メーカーである独メルクと、国際的に評価の高い OLED 研究センターであるブラウンシュヴァイク工科大学の協力を得て、LILi (Light InLine) と名付けた 3 年計画を主導します。LILi プロジェクトに関連する作業は、ドイツ・アルツェナウにあるアプライド マテリアルズの先端開発施設で行われます。

ガラス基板上に形成される OLED 発光タイルは、蛍光灯よりも明るく均一な白色光を発生し、省エネ性にも優れているため、家庭やオフィスのシーリング照明に適しています。近年、各種の OLED 製品が開発されていますが、寿命が短くコストが高いなど普及にはまだ課題があります。LILi プロジェクトでは、大型パネルの製造プロセスを開発し、高性能の有機材料と高効率のデバイス設計を組み合わせることで、こうした問題の解決を目指します。

アプライド マテリアルズのシニアバイスプレジデント、CTO 兼ジェネラルマネージャー (エネルギー&エンバイロメンタルソリューション) のマーク・ピントは次のように述べています。「固体素子照明(SSL)は、未来の省エネ化を実現する重要な要素の 1 つです。OLED 技術は当社のフラットパネルディスプレイ製造装置との適合性が高く、ヨーロッパのある大手照明器具メーカーはすでに当社の OLED 製造装置を導入してテスト稼動を行っています。LILi プロジェクトを通じてこの技術をさらに最適化し、OLED 照明アプリケーションの品質向上とコストダウンを進める考えです」

独メルクの液晶/OLED 担当副社長、ウド・ハイダー博士は次のように話しています。「メルクは、複雑な有機化合物の開発と量産での豊富な経験を活かし、OLED 製造において高い安定性と費用効果を発揮しています。LILi プロジェクトでは、新しい有機材料と最先端の製造装置を組み合わせ、大型基板における材料の安定性と性能を検証することができます」

ブラウンシュヴァイク工科大学のヴォルフガング・コヴァルスキー教授は次のように語っています。「OLED 技術のイノベーションを実現することは、当大学の大きな目標の一つです。アプライド マテリアルズやメルクと手を組んで、我々の高効率 OLED 発光デバイス構造が量産環境でどのような性能を発揮するかを検証できることを嬉しく思います」

OLED プロジェクトの費用総額は約 749 万ユーロで、そのうち 326 万ユーロをドイツ連邦教育・研究省が提供し、残る 423 万ユーロを企業パートナーで負担します。助成金 (FKZ 13N10611) はドイツ連邦教育・研究省の「OLED 2 : 有機発光ダイオード フェーズ 2」構想の一環をなすもので、OLED の共同研究の支援とドイツにおける OLED 製造の奨励を目的としています。詳細情報については、プロジェクトのホームページ (www.liliproject.com) をご覧ください。

メルクは医薬品・化学薬品を扱うグローバル企業で、2008 年の総売上高は 76 億ユーロ。同社の起源は 1668 年に遡り、現在は 60 カ国に約 33,000 人の社員がいます。起業家精神を持つ社員によるイノベーションが会社の成功を支えています。メルクの事業活動を統括するドイツの Merck KGaA は、メルク一族がその株式の約 70%を所有し、残り約 30%を一般株主が所有しています。米子会社だった Merck & Co.は 1917 年に米国に収用され、以後今日まで独立経営の会社となっています。

ブラウンシュヴァイク工科大学は、1745 年に創立されたドイツ最古の工科大学で、ドイツ有数の名声と規模を誇る工科大学の連合体「TU9」の加盟校でもあります。現在の学生数は約 13,000 人で、ニーダーザクセン州で 3 番目に大きな大学です。詳細情報についてはホームページ (www.tu-braunschweig.de) をご覧ください。

アプライド マテリアルズは、半導体チップ、フラットパネル、太陽電池、フレキシブルエレクトロニクス、省エネガラスの製造におけるイノベティブな装置、サービスおよびソフトウェア製品を幅広く提供する Nanomanufacturing Technology™ ソリューションのグローバルリーダーです。アプライド マテリアルズは、人々のライフスタイルを向上させるナノマニュファクチャリングテクノロジーを提供します。

詳しい情報はホームページ : <http://www.appliedmaterials.com> でもご覧いただけます。

このリリースは 11 月 17 日米国においてアプライド マテリアルズが行った英文プレスリリースをアプライド
マテリアルズ ジャパン株式会社が翻訳の上、発表するものです。

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:渡辺徹)は 1979 年 10 月
に設立。大阪支店ほか 12 のサービスセンターを置き、日本の顧客へのサポート体制を整えています。

このリリースに関する詳しいお問い合わせは下記へ

投資家関係:

Applied Materials, Inc.

インベスターリレーションズ: 矢野 悦子 (Tel: +1-408-986-2646)

etsuko_joslen@amat.com

メディア関係:

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社

社長室: 大橋 百合 (Tel: 03-6812-6801)

ホームページ: <http://www.appliedmaterials.com>
